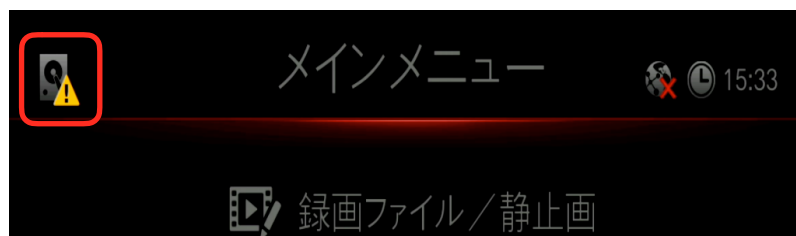


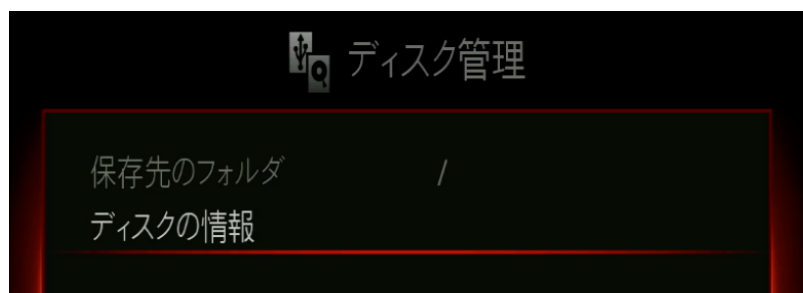
AVT-C285 & ER130：MBRディスクをGPTディスクに変換する手順

0. はじめに

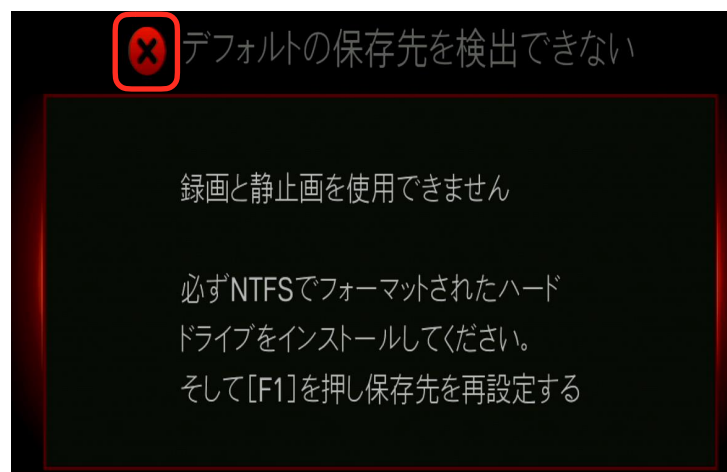
まず、弊社製品AVT-C285 / ER130は、GPT形式のディスクには対応しておらず、**MBR形式のディスク（HDDなど）のみの対応となっております**。しかし、2016年現在、EFIが使われるようになり大容量のHDDが市場に出回るようになったことで、GPT形式のディスクをご利用になられている方が増えていますが、**AVT-C285/ER130ではGPT形式のディスクを認識することができないため、大変お手数ですが、**下記の手順に従ってGPT形式のディスクをMBR形式に変更して下さいますようお願いいたします。



<HDDを認識できない場合の画面表示例>



↑ → (例：AVT-C285の場合 - 【設定】 → 【ディスク管理】 → 【ディスクの情報】 の画面) HDDが認識できません



MBRとGPTの違い	
MBR形式 (マスターブートレコード Master Boot Record、略称：MBR)	GPT形式 (GUIDパーティションテーブル GUID Partition Table, 略称：GPT)
1. 往來のフォーマット形式（古い規格） 2. 2TB以下の容量が多い	1. 新しいフォーマット形式（新しい規格） 2. 2TB以上の容量が多い

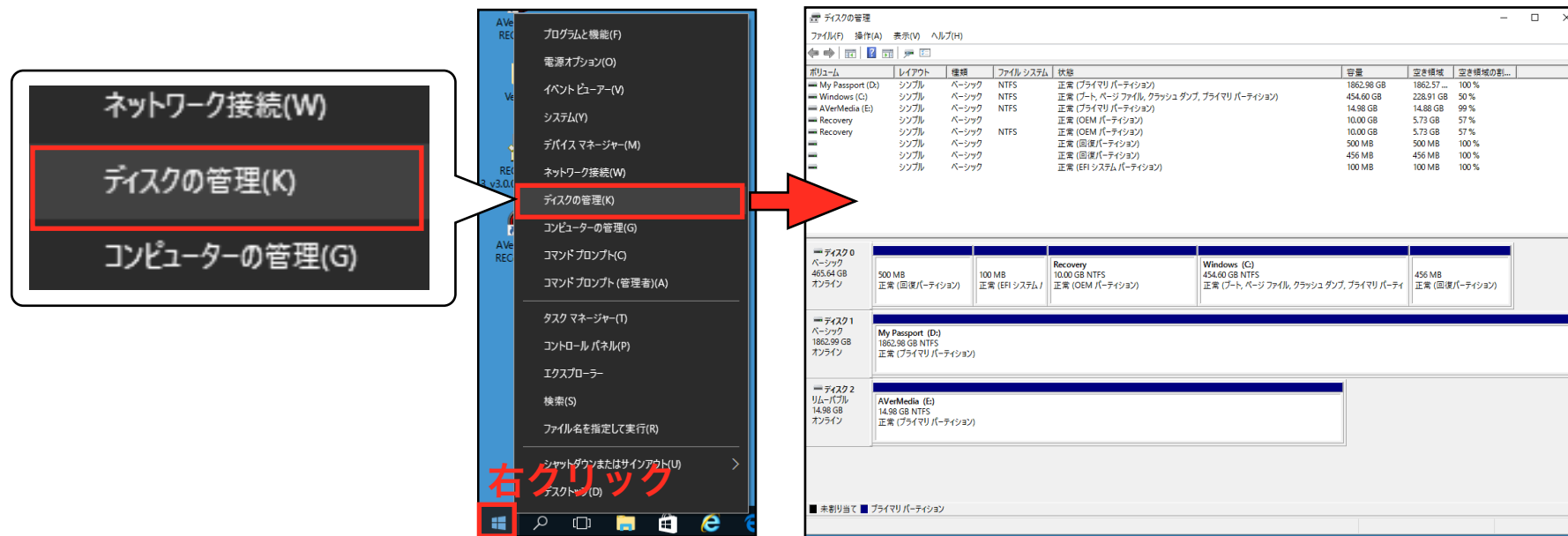
- ・ GPTについて：<https://ja.wikipedia.org/wiki/GUIDパーティションテーブル>
- ・ MBRについて：<https://ja.wikipedia.org/wiki/マスターブートレコード>
- ・ GPTディスクとMBRディスクの違い：
<http://www.disk-partition.com/jp/gpt-mbr/difference-between-mbr-and-gpt.html>
http://freesoft.tvbok.com/tips/hdd_ssd/windows_mbr_gpt.html
<http://volx.jp/diary/4101/>
<http://www.sakaiden.com/?p=14260>

※ご注意（AVT-C285 / ER130）：

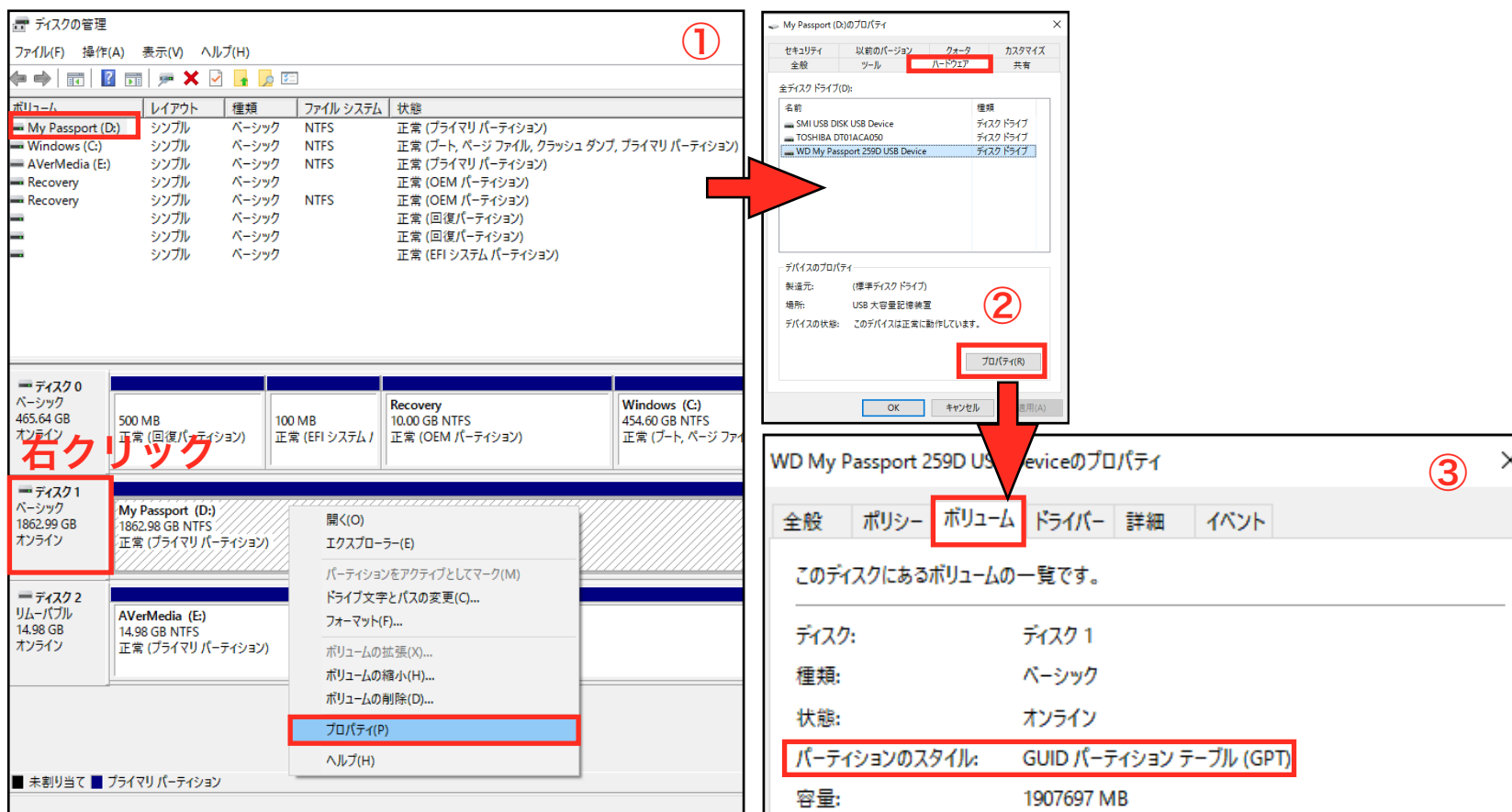
1. HDDの最大対応容量は2TB以下です。
2. HDDはNTFSフォーマットのみ対応です。
3. 自動暗号化機能や省電モード搭載のHDDに対応していません。
4. ネットワークアタッチトストレージ（NAS）システムに対応していません。
5. AVT-C285 / ER130は全ての市販のHDDでの対応することを保証できません。
 もしご使用のHDDで対応できない場合は、別のHDDと交換して下さい。

手順1. ディスク（HDDなど）のGPTディスク・MBRディスクの判別方法 （※Windows® 10を利用する場合）

1. HDDを付属のUSBケーブルでパソコンと接続します（本例はWestern Digital 社製の2TB HDD「WDBBKD0020BBL-PESN」を利用しています）。
2. 画面左下のWindowsマークを右クリック（若しくはキーボードのWindowsキー+Xキーを押します）し、【ディスクの管理】をクリックすると、【ディスクの管理】の画面が表示されます。

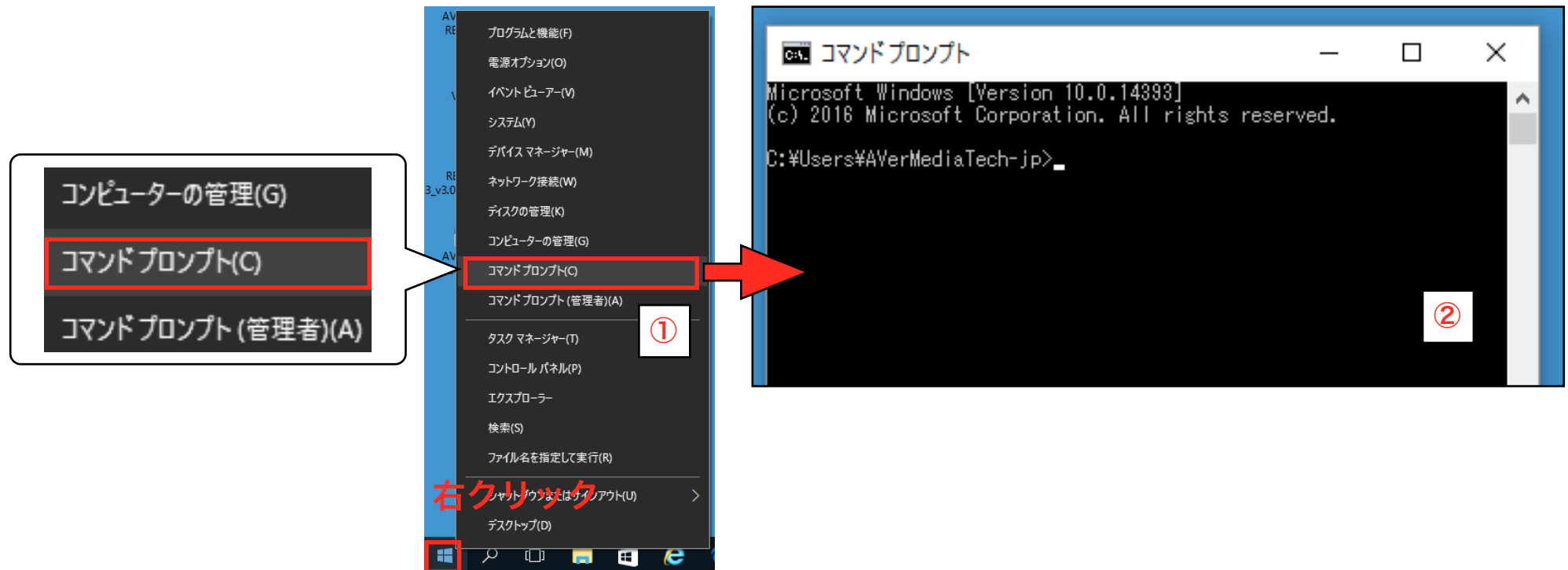


- 3.
- 「ディスクの管理」画面では、GPTからMBRへ変換したいディスクを選択します。
- ① 【ディスク1】を右クリックし、【プロパティ】をクリックします。
 - ② 【ハードウェア】を選択し、【プロパティ】をクリックします。
 - ③ 【ボリューム】を選択し、GPTディスクの場合、「GUID パーティション テーブル (GPT)」と表示されます。



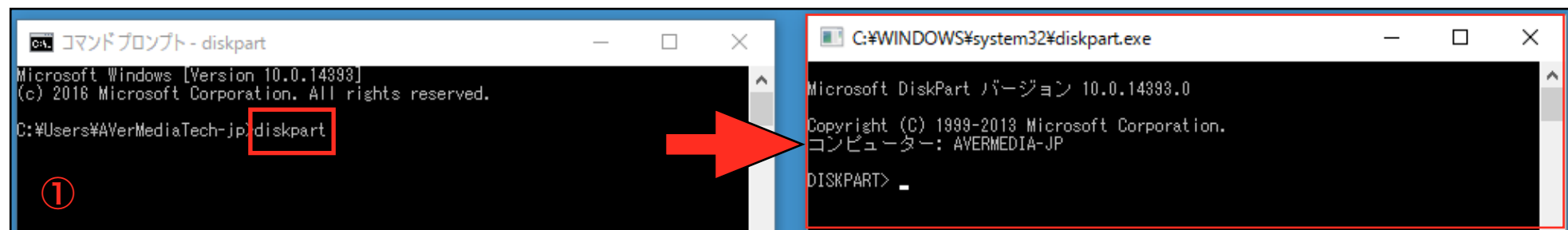
※若しくは、下記の方法でも確認ができます。

1.
 - ① 管理者権限のあるユーザーで画面左下のWindowsマークを右クリック（若しくはキーボードの[Windows]キー＋[X]キーを押します）します。
 - ② 【コマンド プロンプト】をクリックすると、【コマンド プロンプトディスク】の画面が表示されます。



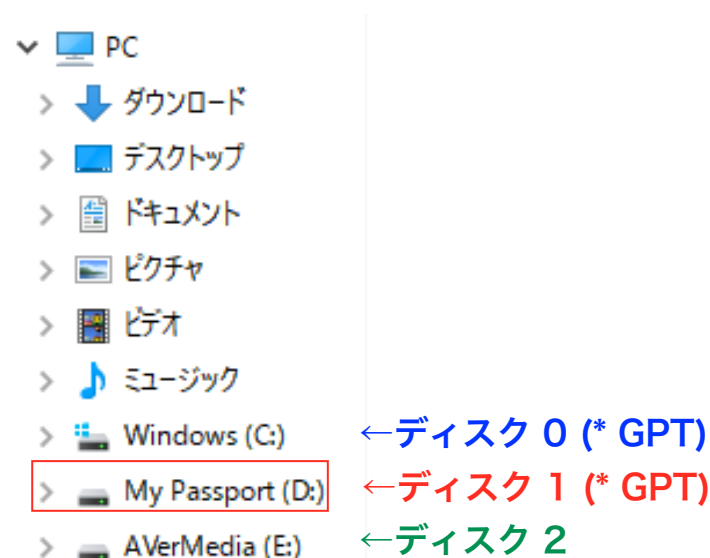
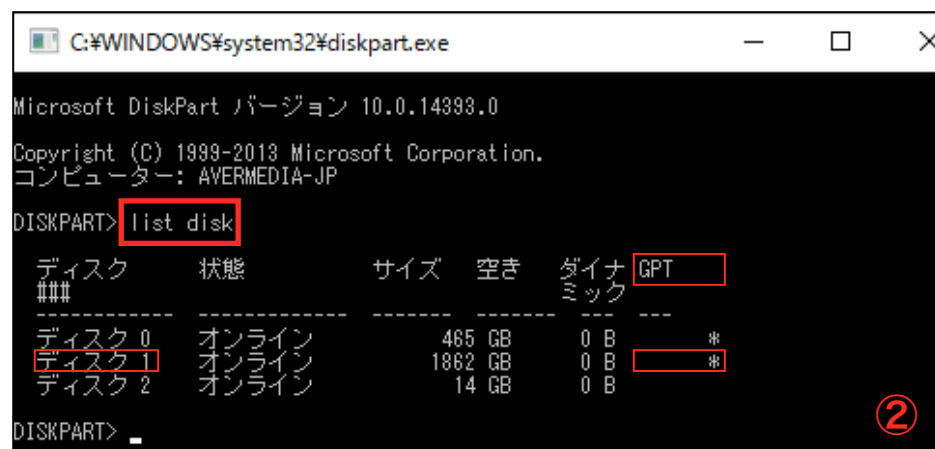
2. 【コマンド プロンプト】画面で、下記の図のように：

- ① 「diskpart」と入力してキーボードのEnterキーを押して実行すると、【diskpart.exe】の画面が表示されます。
(※diskpartコマンドはコマンドプロンプト上で利用するツールです。)



- ② diskpartコマンドを起動したら、次は「list disk」と入力してキーボードのEnterキーを押して実行すると、システムのディスク一覧が表示されますので、ディスクのパーティションの状態が確認できます。

「*」印はGPT形式のディスクであることを表します。



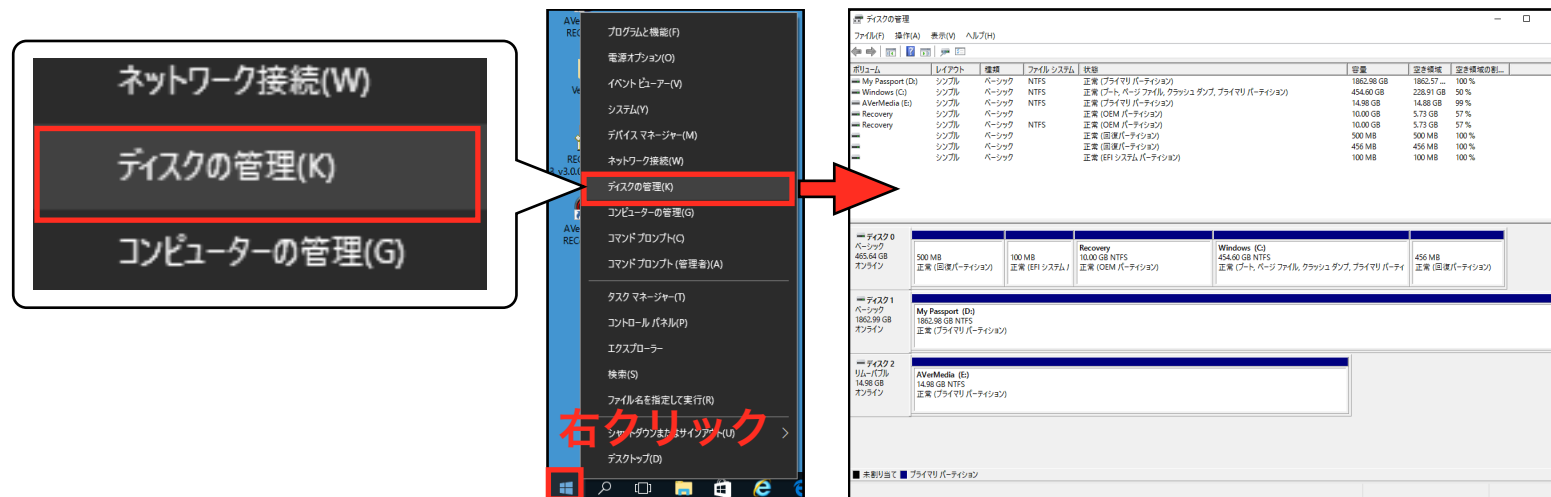
手順2. GPTディスクをMBRディスクに変換します（※Windows 10を利用する場合）

◆変換する前の注意点◆

GPTディスクをMBRディスクへ変換すると、GPTディスクに保存されているデータが全て削除されますので、必要なデータは事前に別の媒体へバックアップをして下さい（この作業において削除されたデータの保証について、弊社は一切の責任を負いかねますので、予めご了承下さい）。

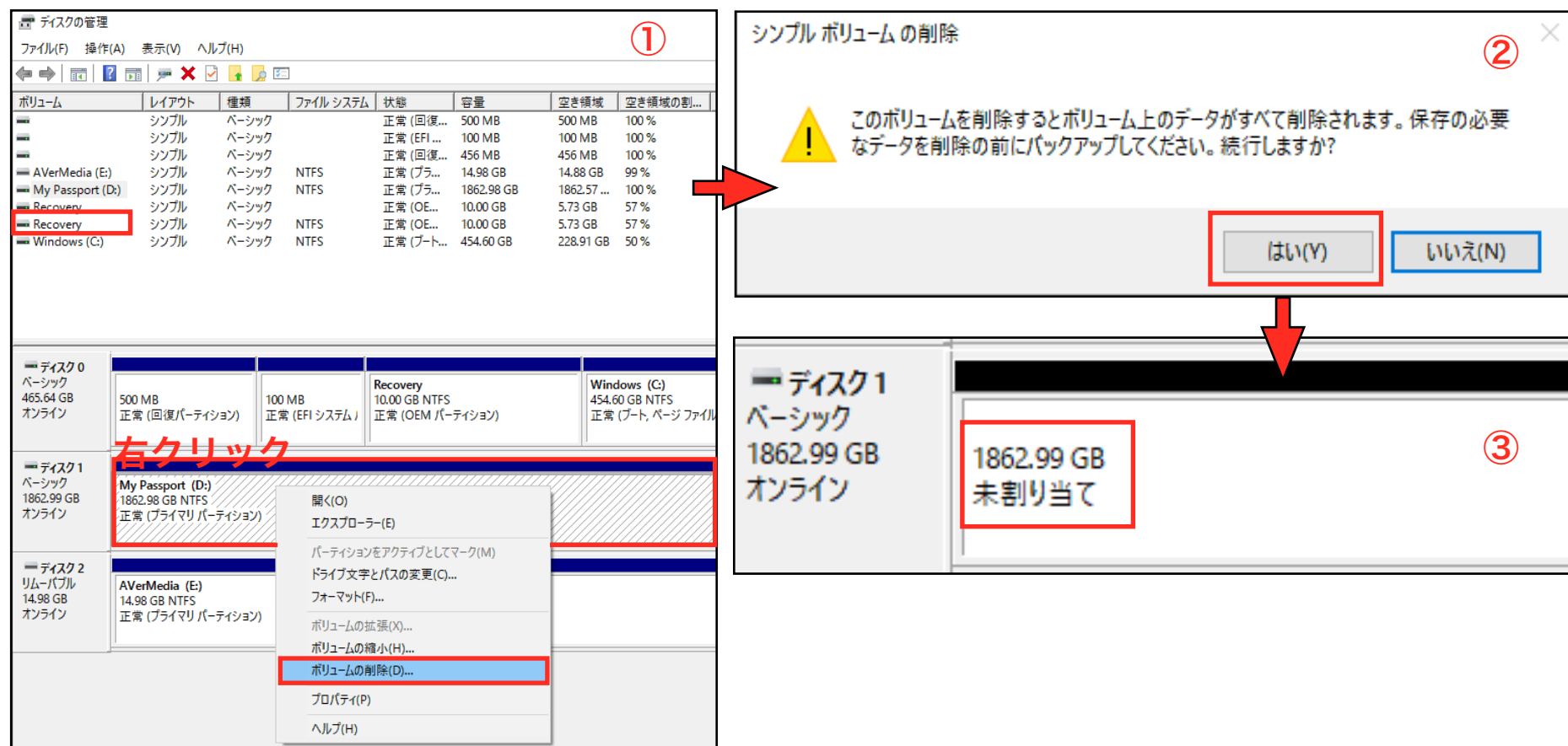
1.

画面左下のWindowsマークを右クリック（若しくはキーボードのWindowsキー+Xキーを押します）し、【ディスクの管理】をクリックすると、【ディスクの管理】の画面が表示されます。



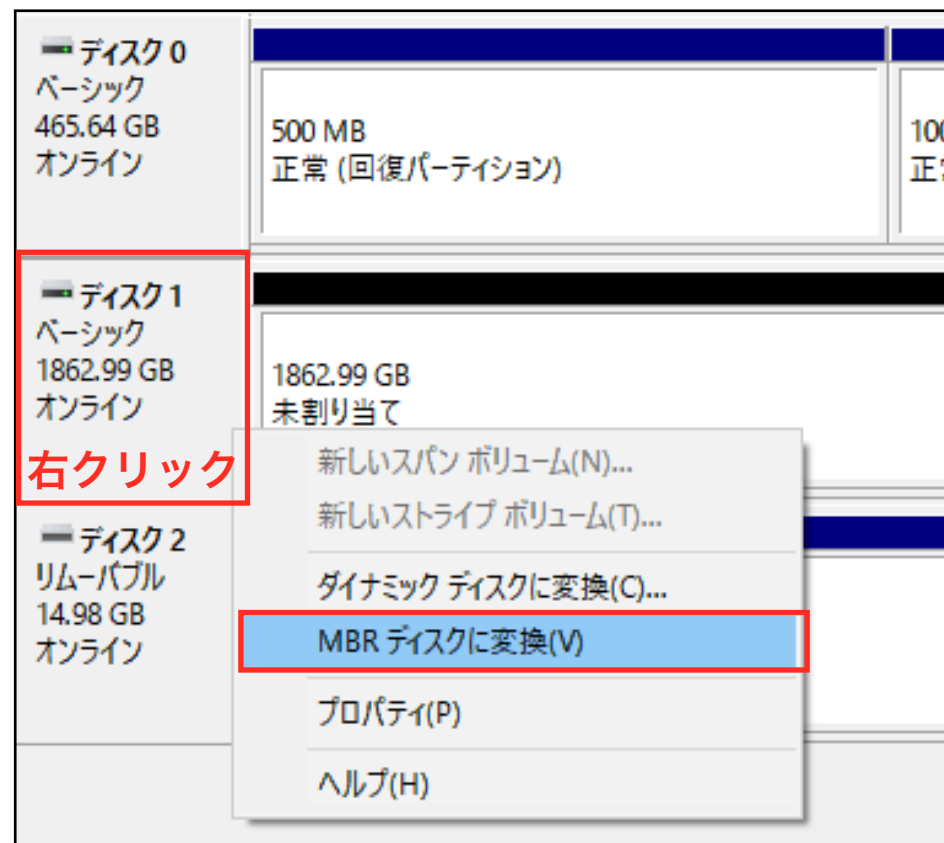
2.

- ① 【ディスクの管理】の画面では、【ディスク1 (My Passport (D:))】 (今回使用しているHDD) のディスクのボリュームのドライブを右クリックし、「ボリュームの削除(D)…」を選択して削除します。
- ② 「シンプル ボリュームの削除」というメッセージが表示されます。「はい」をクリックします。
- ③ ボリュームの削除が完了すると、「未割り当て」という表示になります。



3.

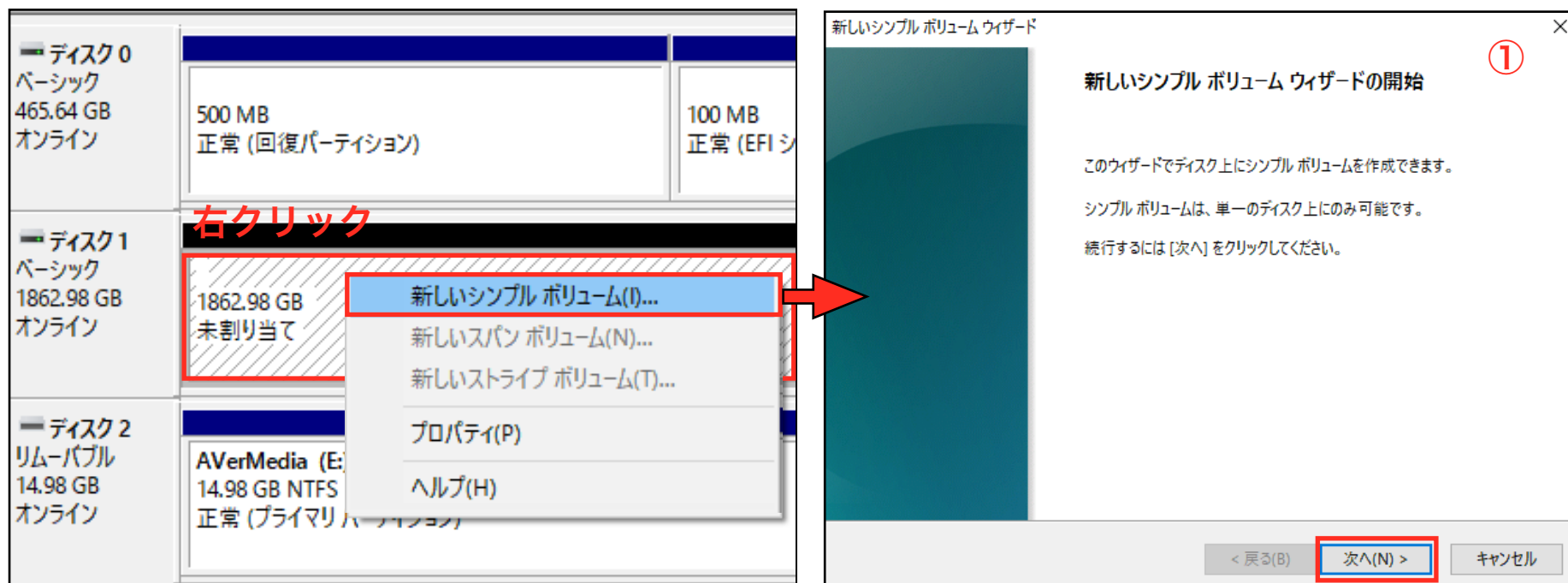
【ディスク1 (My Passport (D:))】 (今回使用しているHDD) を右クリックし、
「MBRディスクに変換」をクリックします。



4.

【ディスク1 (My Passport (D:))】 (今回使用しているHDD) のディスクのボリュームのドライブを右クリックし、「新しいシンプルボリューム」をクリックします。

① 「新しいシンプルボリュームウィザードの開始」画面が表示されたら、「次へ」をクリックします。



②&③

【ボリュームサイズの指定】や【ドライブ文字またはパスの割り当て】の画面では、そのまま「次へ」をクリックします。

新しいシンプル ボリューム ウィザード

ボリューム サイズの指定
最小サイズと最大サイズの間でボリュームのサイズを選択してください。

最大ディスク領域 (MB): 1907694

最小ディスク領域 (MB): 8

シンプル ボリューム サイズ (MB)(S): 1907694

< 戻る(B) **次へ(N) >** キャンセル

新しいシンプル ボリューム ウィザード

ドライブ文字またはパスの割り当て
アクセスを簡単にするために、ドライブ文字またはドライブ パスをパーティションに割り当てることができます。

☒ 次のドライブ文字を割り当てる(A): D

☐ 次の空の NTFS フォルダーにマウントする(M): 参照(R)...

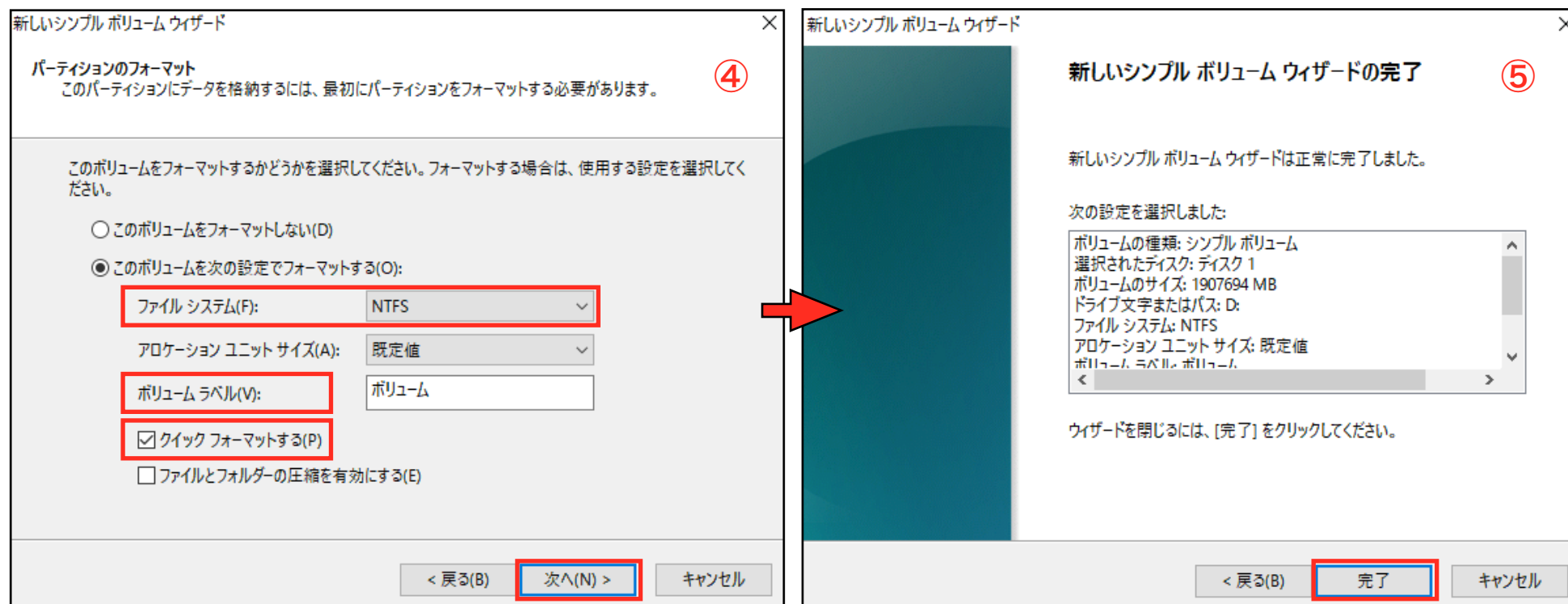
☐ ドライブ文字またはドライブ パスを割り当てない(D)

< 戻る(B) **次へ(N) >** キャンセル

④ 【パーティションのフォーマット】の画面では、以下の画面のように、

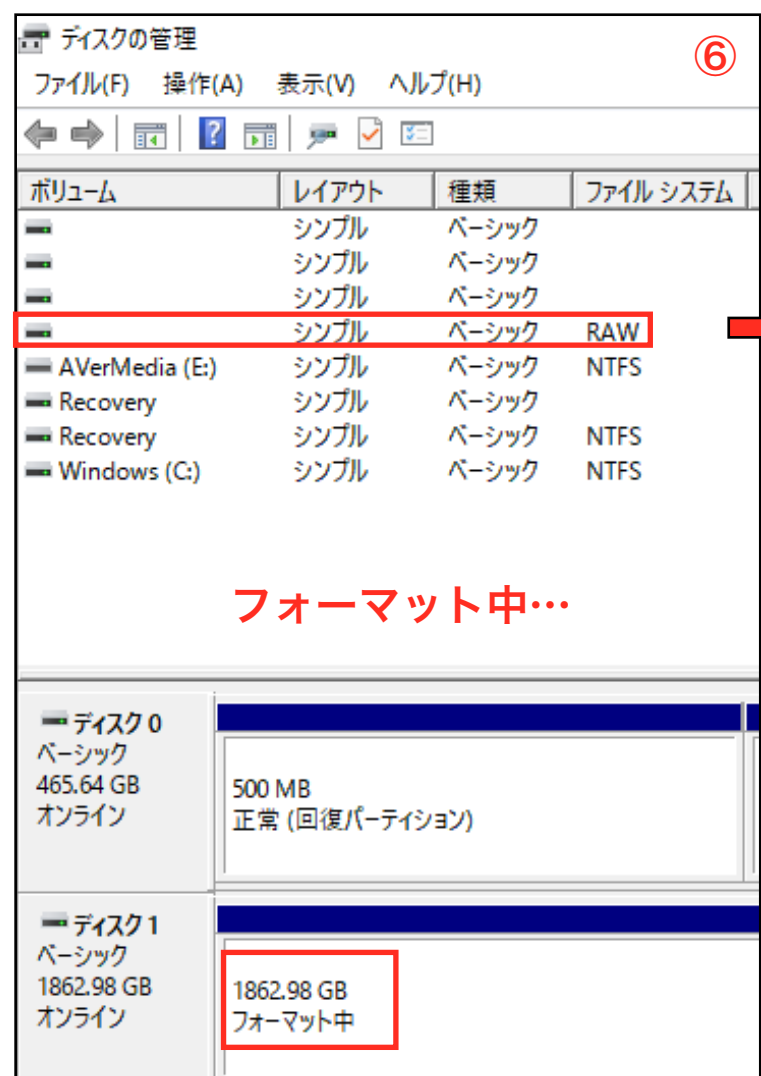
- ・「ファイル システム」は【NTFS】を指定し、
- ・「ボリュームラベル」は、自分の好きな名前を付け、
- ・「クイックフォーマットする」に必ずチェックが入っていることを確認し、「次へ」をクリックします。

⑤ 【新しいシンプルボリュームウィザードの完了】の画面が表示されたら「OK」をクリックします。

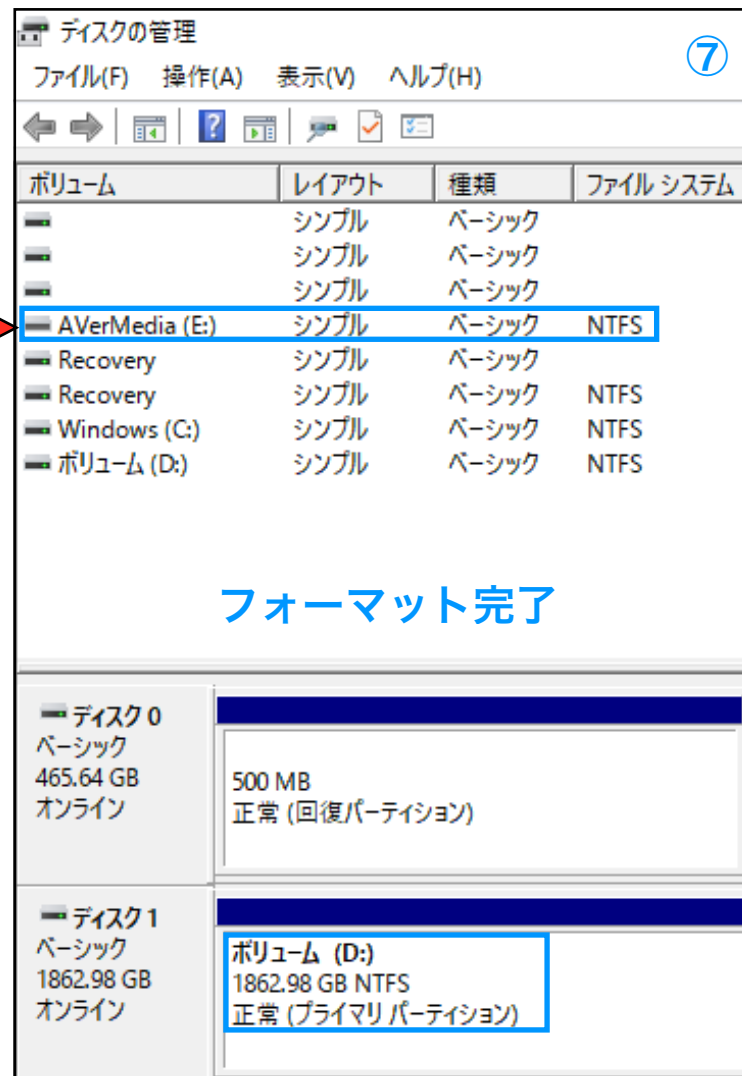


⑥&⑦

フォーマットが開始します。数秒から数分で、「正常（プライマリパーティション）」と表示されたら、フォーマット完了です。



フォーマット中...

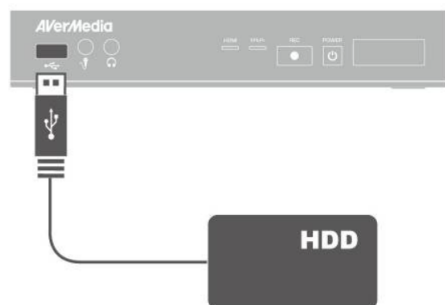


フォーマット完了

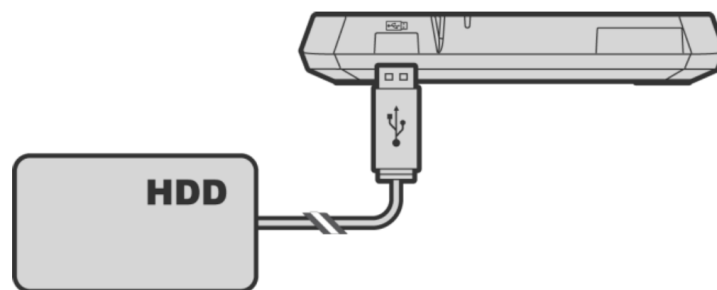
手順4. ディスクをAVT-C285 / ER130に接続します

1. MBRフォーマットに変換したUSBディスク（HDDなど）をAVT-C285 / ER130前面のUSB端子に接続し、AVT-C285 / ER130を起動します。

【AVT-C285の場合】



【ER130の場合】

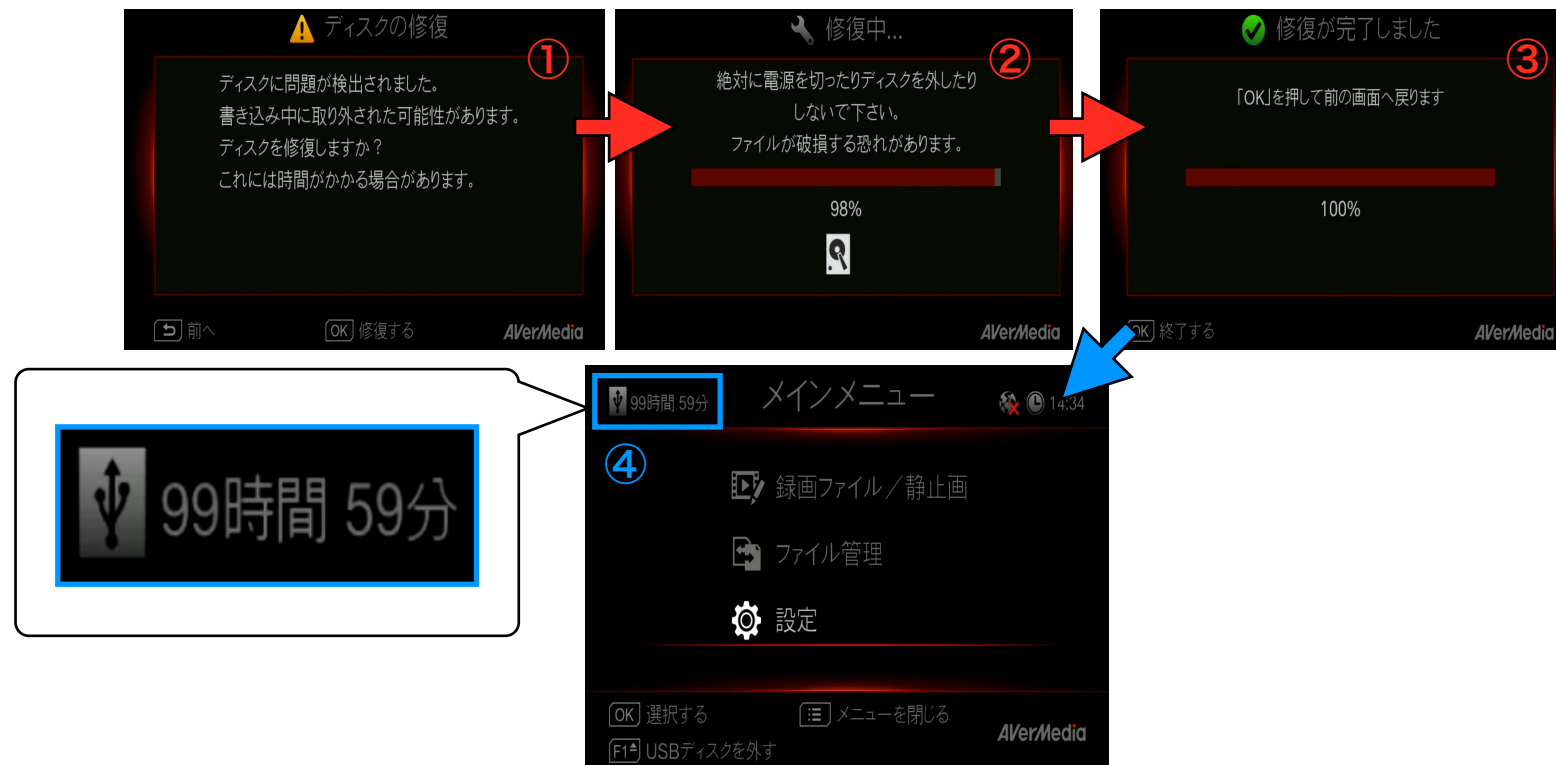


2.

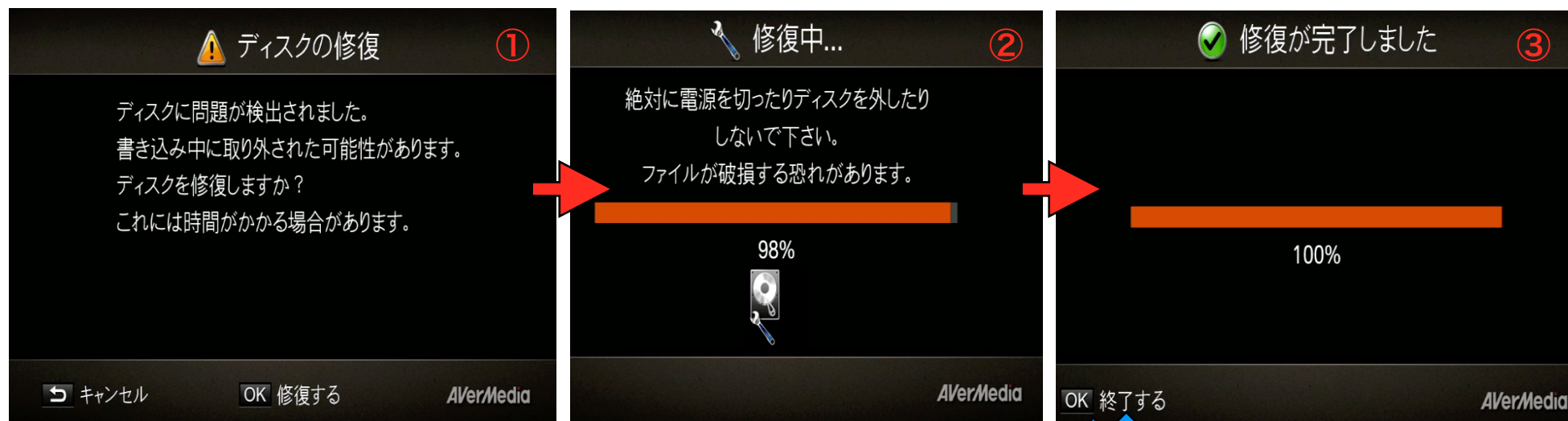
①~③「ディスクの修復」の画面が表示されたら、AVT-C285 / ER130のリモコンの【OK】 ボタンを押し、ディスクの修復を行います（※表示されるエラーメッセージは接続しているディスクの故障ではなく、「改めてディスクを認識させる」という意味ですので、ご安心下さい）。

④メインメニュー画面の左上には「xx時間xx分」という表示が、「ディスクの利用可能時間」を示します。

【AVT-C285の場合】

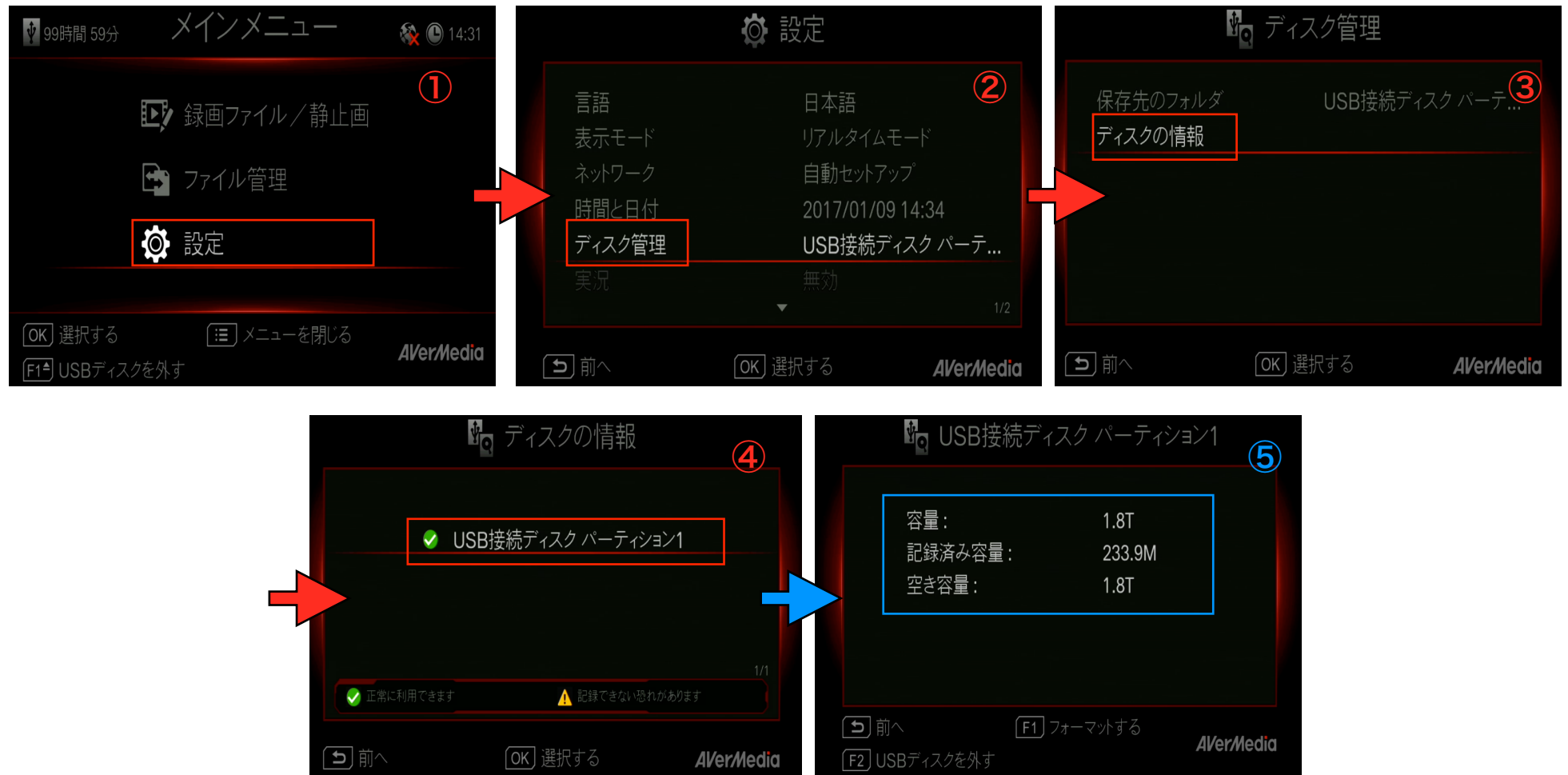


【ER130の場合】



※AVT-C285 / ER130のリモコンの【MENU】画面を押し、【設定】→【ディスク管理】→【ディスクの情報】→【USB接続ディスク パーティション1】の順に選択し、USB接続ディスク（HDDなど）の構成情報を確認することができます。

【AVT-C285の場合】



【ER130の場合】

